

# 遊具点検実施基準（1／5）

遊具名	点検項目	点検方法等	判定 A		判定 B	
			判定基準	措置内容	判定基準	措置内容
砂場	イ. エプロンの破損状況 ロ. 異物の有無 ハ. 砂の量の適否 ニ. 水はけの状況	通常点検： ・目視、触診 定期点検： ・目視、触診 ・打診（エプロンのヒビ割れの程度を確認） ・工具使用（熊手等で砂中を探る）	・エプロンが破損し、危険な切り口等があるもの ・砂中に、ガラスの破片等が混入しているもの ・砂の量が著しく不足しているもの ・滞水が広範囲にあるもの	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・エプロンに軽微なヒビ割れが生じているもの ・砂場の表面に異物があるもの ・砂の量が少し不足しているもの ・降雨後も滞水が少しあるもの	・点検時に即対応可能なものは措置する ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく。
すべり台	イ. 滑走面の破損状況 ロ. 手摺、階段の損耗状況 ハ. 着地面との段差。 ニ. 部材の取付、固定状況 ホ. 部材の腐食、磨耗、変形状況 ヘ. 基礎部の露出状況 ト. 着地面の砂等の量の適否	通常点検： ・目視、触診 定期点検： ・目視、触診 ・打診（階段、手摺、ボルト等の腐食を確認） ・工具使用（ボルト、ナットの締め具合を確認）	・滑走面の破損及び危険な突出等があるもの。 ・手摺り、階段が著しく腐食、又はぐらついており、転落の恐れがあるもの。 ・部材の腐食及びぐらつきが著しく、遊戯中危険なもの。 ・部材の固定状況が悪く、遊戯中危険なもの。 ・基礎部(着地面付近)の露出により頭部等を打つ恐れのあるもの。	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・滑走面、手摺、階段等に軽微な破損、腐食、突出、ぐらつき等があるもの。 ・着地面に軽微な窪みがあるもの。	・点検時に即対応可能なものは措置する ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく。
ブランコ	イ. 吊金具、ダルマ金物等の損耗状況。 ト. ボルト・ナットの緩みの良否。 ロ. 座板の腐食、破損の状況。 チ. 金属の腐食、磨耗、開き状況。 ハ. 座板と地盤面との間隔の適否。 リ. 着地面の保護材の損耗状況。 ニ. フレーム部材の取付、固定状況及び基礎部の露出状況。 ホ. フレーム部材の腐食、変形状況。	通常点検： ・目視、触診 定期点検：目視、触診 ・打診（接続部及びボルト等の腐食を確認） ・工具使用（ボルト、ナットの締め具合やチェーンの磨耗具合を確認）	・吊金具、ダルマ金物等の損耗が著しく ・破断、外れの恐れのあるもの。 ・座板の腐食、破損が著しく、危険なさくれ、突起等があるもの。 ・座板と地盤面との間隔が危険なもの。 ・部材の腐食及びぐらつきが著しく遊戯中危険なもの。 ・固定状況が悪く、遊戯中危険なもの。 ・鎖等の磨耗、変形が著しく遊戯中に外れる恐れがあるもの。 ・保護材(人工芝等)が損耗しており、着地等に危険なもの。 ・地盤面が侵食され、着地面近く	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・吊り金具、ダルマ金物、座板、フレーム部材に軽微な腐食、破損があるもの。 ・鎖等に軽微な不快感、磨耗変形があるもの。 ・地盤面が侵食されており、滞水する恐れのあるもの。	・点検時に即対応可能なものは措置する。 ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく。

遊具点検実施基準（2／5）

遊具名	点検項目	点検方法等	判定 A		判定 B	
			判定基準	措置内容	判定基準	措置内容
	へ. 地盤面の侵食、水溜りの有無。		に石、コンクリート等が露出しているもの。			
シーソー	イ. 木製本体の腐食、破損の状況。 ト. 地盤面の侵食、水溜りの有無。 ロ. ハンドル、つり鎖の破損、変形の状況。 チ. ボルト・ナットの緩みの良否。 ハ. 軸受けの回転具合の良否。 リ. 基礎部の露出状況。 ニ. 接地部の地盤状況の良否。 ホ. 軸受支柱の取付、固定状況 へ. 軸受支柱の腐食、変形状況。	通常点検： ・目視、触診 定期点検： ・目視、触診 ・打診（接合部、基礎部及びゲタ部の腐食を確認） ・工具使用（ボルト、ナットの締め具合や軸受部の磨耗具合を確認）	・木製本体の腐食、破損が著しく危険なささくれ、突起等があるもの。 ・ハンドルの破損、変形が著しく、抜ける恐れがあるもの。 ・接地部のタイヤ等の破損、接地部の陥没等により危険なもの。 ・軸受けの不具合により、著しく不快な音を出したり、横揺れがひどいもの。 ・軸受支柱の腐食及び、ぐらつきが著しく遊戯中危険なもの。 ・軸受支柱の固定状況が悪く遊戯中危険なもの。	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・木製本体、ハンドル、軸受け、軸受支柱に軽微な腐食、破損、変形、ぐらつきがあるもの。 ・地盤面が侵食されており、滞水する恐れがあるもの。	・点検時に即対応可能なものは措置する。 ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく。
鉄棒 ジャン グルジ ム	イ. 部材の取付、固定状況。 ロ. 部材の腐食、変形状況 ハ. 地盤面の侵食、水溜りの有無。	通常点検： ・目視、触診 ・定期点検： 目視、触診	・部材の腐食、ぐらつきが著しく、遊戯中危険なもの。 ・部材の固定状況が悪く、遊戯中危険なもの。	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・部材に軽微な腐食、破損、変形があるもの。 ・基礎部の露出が軽微なもの ・地盤面が侵食されており、滞水	・点検時に即対応可能なものは措置する ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それ

# 遊具点検実施基準（3／5）

遊具名	点検項目	点検方法等	判定 A		判定 B	
			判定基準	措置内容	判定基準	措置内容
	ニ. ボルト・ナットの緩みの良否。 ホ. 基礎部の露出状況。	・打診（接合部及び基礎部の固定具合や腐食を点検） ・工具使用（足元周辺の部材の腐食による寸法の確認）	・基礎部の露出が著しく、頭部等を打つ恐れのあるもの		する恐れのあるもの。	までの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく
コンビネーション遊具（複合遊具） スプリング遊具	イ. 部材の取付、固定状況。 ヘ. 着地面との段差。 ロ. 部材の腐食、変形状況。 ト. ボルト・ナットの緩みの良否。 ハ. 鎖等の磨耗、変形状況。 チ. 鎖、バネ等の磨耗、カバー等変形状況。 ニ. 回転部の滑らかさ具合。 リ. 基礎部の露出状況。 ホ. 滑走面の破損状況。 ヌ. 周辺、地表面の状況。（コイル内の異物等）	通常点検： ・目視、触診 定期点検： ・目視、触診 ・打診（接合部の固定具合、バネの状況を確認） ・工具点検（ボルト、ナットの締め具合を確認）	・部材の腐食、ぐらつきが著しく、遊戯中危険なもの。 ・部材の固定状況が悪く、遊戯中危険なもの。 ・鎖等の磨耗、変形が著しく、遊戯中に外れる恐れがあるもの。 ・回転部の動きが著しく固いもの、又は著しく不快な音を出すもの。 ・滑走面が破損し、危険な箇所があるもの。 ・鎖、バネ等の磨耗、変形が著しく、遊戯中に外れ、又は破断する恐れがあるもの。 ・基礎部の露出が著しく、頭部等を打つ恐れのあるもの	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・部材に軽微な腐食、破損、変形があるもの。 ・基礎部の露出が軽微なもの ・地盤面が侵食されており、滞水する恐れがあるもの。	・点検時に即対応可能なものは措置する ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく
スツール ベンチ	イ. 尻当て及び背当て部の腐食、破損状況。 ロ. 尻当て及び背当て部の釘、ボルト、ビス等の突起物の有無。 ハ. 地盤との固定具合の良否。	通常点検： ・目視、触診 定期点検： ・目視、触診 ・打診（板材の浮き、釘打ち部等の突起物を確認）	・尻当て、背当て部に危険なささくれ、鋭利な切り口等があるもの。 ・尻当て、背当て部の腐食、破損が著しく、腰掛けられないもの。 ・尻当て、背当て部に、釘、ボルト、ビス等の危険な突起物があるもの。 ・ぐらつきが著しく、転倒の恐れがあるもの。	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・尻当てに一部破損がある。 ・背当てに一部破損がある。 ・地盤面が侵食されており、滞水する恐れがある。	・点検時に即対応可能なものは措置する ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく

遊具点検実施基準（4／5）

遊具名	点検項目	点検方法等	判定 A		判定 B	
			判定基準	措置内容	判定基準	措置内容
パーゴ ラ あずま や	イ. 構造体の傾斜、変形等の有無。 ロ. 構造材の異常を示す亀裂、腐食等の有無。 ハ. 鉄筋の露出、腐食の有無。 ニ. 屋根材の破損の有無。	通常点検： ・目視、触診 定期点検： ・目視、触診 ・打診（基礎部や柱材の腐食等を確認） ・工具使用（ボルト、ナットの締め具合を確認）	・柱材の腐食、変形、亀裂等が著しく、倒壊の恐れがあるもの。 ・屋根の腐食、変形、亀裂が著しく、落下の恐れがあるもの。 ・破損断面が鋭利である等、危険なもの。 ・屋根材の破れ、割れがあり機能を果たしていないもの。	・直ちに使用禁止の措置を講じ緊急修繕を行う。	・柱材に軽微な腐食、亀裂等あるもの。 ・鉄筋の露出(錆び汁の発生含む)又は、腐食がみられるもの。 ・屋根材の一部に破れ又は、割れがみられるもの。	・点検時に即対応可能なものは措置する。 ・点検時に即対応が不可のものは早期に修繕を行う。（それまでの間、継続使用） ・当面、修繕の必要性が無いものは経過観察を行っていく。